



井川小学校 学校報

平成 28 年 4 月 22 日 第 3 号

緑 風



学校教育目標

豊かな心を持ち、共に考え、自ら高めていく子ども

新防災意識を高めるために

校長 六郷 博志

今月の 14 日と 16 日、九州で巨大地震がありました。崩落した阿蘇大橋や熊本城、そして、10 万以上の住民が避難所での生活を余儀なくされている様子が毎日テレビに映し出されるたびに、5 年前の東日本大震災の時の様子がオーバーラップします。

昭和 8 年に、宮古市で大津波を体験した小学校 2 年生の子どもが書いた作文を見つけました。「山でつなみを見ました。白いけむりのようで、おっかない音がきこえました。火じもあつて、みんながなきました。夜があけてから見ました。家もみんなこわれ友だちもしんでいたの、私もなきました。」

文章は決して上手とはいえませんが、津波の恐ろしさが生々しく伝わってくる作文です。きっと、熊本の子どもたちも、5 年前の三陸の子どもたちも、数字では伝わらないそれぞれの体験を背負ったに違いありません。

こうした災害が頻発しているからこそ、本校の子どもたちにも体験を通して防災意識を高めるため、現在、この夏休みに、体育館を避難所にした生活を 1 泊して体験する「防災キャンプ」を計画しています。また、2 年後にこの校舎での生活が終わることも踏まえ、学校に宿泊する貴重な思い出づくりにもなる価値あるキャンプにしたいと願っています。



子どもたちの様子をお知らせしています



先週から「井川小学校公式フェイスブック」をオープンしました。フェイスブックに入会しなくても、パソコンやスマホからご覧になれます。学校からのお知らせや出来事を写真や動画などでお伝えしますので、ご覧になられたら、ぜひ「いいね!」をクリックしてください。アドレスは、

www.facebook.com/ikawasyo/

です。

三浦教頭が子どもたちの様子を写真で伝えてきたブログ、「いつもかがやく、わが I KWA ショー」も、今年も引き続き開設しています。3 年目になるブログですので、これからぜひご期待ください。アドレスは以下のとおりです。

<http://ikawashow.blogspot.jp/>



全国学力学習状況調査がありました

4 月 19 日、6 年生を対象にした「全国学力学習状況調査」がありました。秋田県は調査を開始した平成 19 年度から 9 年間、全国でトップクラスを維持しており、本校の児童も全国を大きく上回る成績で推移しております。

結果は 8 月に公表される予定となっており、この学校報でお知らせします。



平成28年度1学期 グランドデザイン

27年度
成果と課題

(学習指導)
(生徒指導)
(児童会活動)

定期的な対話は定着したが、自ら問いを発することは少ない。
きちんとあいさつは返すが、自己肯定感が低い。
縦割り活動は活発だが、自主的な活動が弱い。

教育目標 豊かな心を持ち、共に考え、自ら高めていくこどもの育成

めざす学校の姿＝試行錯誤のある学校

- ☐ こどもが主役の学校
《失敗を恐れない子ども・教師集団》
- ☐ 感動のある学校
《わくわくする期待あふれる毎日》
- ☐ 到達目標がある学校
《前年を繰り返さない教育活動》

めざす教師の姿＝率先垂範する教師

- ☐ 子どもを愛する教師
《積極的な対話と豊かな子ども理解》
- ☐ 挑戦し続ける教師
《不断の研鑽による自己の向上》
- ☐ 心身ともに健康な教師
《自己管理と法令遵守の徹底》

めざす子どもの姿と1学期の目標

おもいやりを持つ子

- ☐ 話し手を全員が見る授業や集会をつくる。
- ☐ 縦割り清掃が協力してきれいにできる。
- ☐ 相手を思いやる言葉を昨年より多く使うことができる。

共に考える子

- ☐ 全学年の授業で、理由をはっきり述べる発言ができる。
- ☐ 学級や全校で問題を話し合えることができる。
- ☐ 自らがよく考えて避難訓練を行うことができる。

進んで学び活動する子

- ☐ 「勉強がとてもわかる」子どもを6割以上にする。
- ☐ 委員会活動で具体的な目標を設定する。
- ☐ 「縦割り活動が楽しい」子どもが増える。

1学期の具体的な取り組み

- ☐ 「聞き方」ルールの徹底
- ☐ 縦割り清掃についての話し合いの充実
- ☐ 帰りの会での友達のよさの伝え合いの設定

- ☐ 「話し方」ルールの徹底による対話のある授業の展開
- ☐ 学級会や集会の定例化
- ☐ 抜き打ち避難訓練や防災キャンプの実施

- ☐ 子どもが「わからない」と発言できる授業・学級づくり
- ☐ 意欲の持てる委員会活動の充実
- ☐ 縦割り班への支援と励まし

小中一貫校開設に向けた取り組みの推進

- ☐ 学習指導での小中の円滑な接続のための研究推進
- ☐ 学校行事やふるさと・キャリア教育プログラムの具体的な検討
- ☐ 小中の児童生徒や職員の積極的な交流
- ☐ 保護者や地域への積極的な情報発信と収集